

札幌北高定時制だより

令和7年度 第6号 2026.2.25

球技大会開催！ 広がる絆の輪 — 仲間の響き合う歓声に感動 —

12月23日（火）球技大会が行われました。今年度は「ソフトバレーボール」「ドッジボール」に加え、新たな試みとして「ポッチャ」が種目に加わり、熱気と笑顔のあふれる一日となりました。



■ 全員が主役になれる場所 生徒提案の「ポッチャ」

今回の目玉となったポッチャは、「多様な仲間たちが、誰もが同じ土俵で真剣に競い合える種目を」という生徒会の提案により採用されたものです。

試合が始まると、一投ごとに大きな歓声が上がりました。運動経験や身体能力の差を超え、知恵を出し合い、声を掛け合う姿は、まさに本校が大切にしている「共生」の形を体現しているようでした。



■ 1年生の熱い応援と、世代を超えた「交流の輪」

各学年が団結して学年対抗戦を戦い見所たくさんでした。中でも今大会で特に印象的だったのが、1年生の素晴らしい姿です。入学から8ヶ月が経ち、クラスの絆が深まってきた彼らは、コートに立つ仲間を全力で応援。体育館に響き渡る熱心な声援は、プレーする選手たちの背中を力強く押ししていました。「仲間の頑張りを自分のことのように捉え、一生懸命に声を出す」という純粋な姿は、上級生や教職員の目にも大変頼もしく映りました。

また、当日は多くの保護者の皆様に参観いただきました。さらに、後援会長、保護者の方々、そして実習中の大学生も競技に参加してくださいました。多世代が混ざり合った交流を通じて、学校全体が大きな一つのチームになったような一体感に包まれた素晴らしい行事となりました。

未来の自分をデザインする ― キャリア形成への一歩 ―



卒業後の進路決定は、高校生活における大きな節目です。本校では、生徒一人ひとりが納得のいく「将来」を描けるよう、各学年で特色あるキャリア形成プログラムを実施しています。

■ 1年生：2月3日（火）見て、触れて、知る「専門学校講師による体験型ガイダンス」

1年生は、専門学校から講師の先生方をお招きし、体験型のガイダンスを行いました。「自分にはこれが向いているかも」「この分野をもっと知りたい」という小さな発見が、今後の学習へのモチベーションを大きく変えてくれるはずです。

■ 2・3年生：1月28日（水）・2月6日（金）自分を知る鏡「CUBIC 適性検査」を実施

2年生と3年生は、多角的な自己分析ツール「CUBIC 適性検査」を受検しました。客観的な視点で自分を見つめる事が出来る時間となりました。就職・進学に向けた具体的な自己PRの材料となります。

かけがえのない「今」と「命」を守るために

生徒一人ひとりに寄り添い、健やかな学校生活を送るための「心の教育」について外部機関と連携して行われた二つの大切な取り組みについてご報告します。

■ 1月28日（水）：自殺防止ワークショップ（こども家庭庁主催）

この活動では、単に知識を得るだけでなく、ストレスとの向き合い方や、身近な人が悩んでいるときにどう声をかけるかといった具体的なスキルを学びました。

■ 1月29日（木）：いじめ防止「カフェミーティング」（道教委主催）

生徒会長と副会長が参加。初めて参加するオンライン会議に2名とも緊張したようですが、学校の枠を超えて多様な視点から「いじめ」（今回はネットいじめ）について語り合いました。



【こども家庭庁による自殺防止ワークショップの様子】



【オンライン カフェミーティング】